討論

令和７年度決算議案 このような理由で 賛成しました 反対しました

10月７日の本会議で、７年度決算議案の採決に先立ち、議員が賛成・反対のそれぞれの立場から討論を行いました。

ここでは、各議員の主な討論内容を掲載しています。

録画配信はこちら⇒

賛成　自民党新政会　岸田（きしだ） 功典（こうすけ）



将来に期待の持てる市政運営を

経済や社会環境が大きく変化する中、７回の補正予算を組み、物価高騰対策として、国・都と連携し、柔軟かつ迅速に各種支援策を実施したことを評価する。

また、妊産婦、乳児から高齢者まで、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みについても、高く評価する。

財政健全化の維持・継続も重要だが、経済的・社会的便益をもたらす、費用対効果が高い事業には積極的に投資を行い、将来に期待の持てる市政運営を求め、本決算に賛成する。

賛成　八王子市議会公明党　冨永（とみなが） 純子（じゅんこ）



今後も必要な支援が届く取り組みを

７年度は社会経済情勢の変化や新たな行政需要に対し、７回の補正予算を組み、市民生活を守る施策を講じるとともに、将来を見据えた取り組みを着実に進めてきたことを評価する。

また、２歳までの第１子の保育料無償化など、子育てに掛かる負担を社会全体で支える取り組みの具体化を高く評価する。

今後も、市民生活や事業者を取り巻く状況を的確に捉え、必要な方に必要な支援が届くよう、迅速かつ柔軟に対応することを要望し、本決算に賛成する。

賛成　立憲民主・市民の会　安藤（あんどう） 修三（おさみ）



再発防止策の徹底で信頼回復を

７年度も、市税・各種徴収金共に高い収入率を達成している。これは、市民から市への信頼・理解・協力の賜物であると考えられ、取り組みを評価する。

一方で、７年度に発覚した組織的な通勤手当不正受給等の問題は、市への信頼を損なう重大な問題である。市民に義務を課すに当たり、職員には高い倫理観と綱紀保持が求められる。

この問題への市長の責任の取り方には疑問があり残念だが、再発防止策の徹底と、信頼回復を期待し、本決算に賛成する。

反対　日本共産党 八王子市議会議員団　市川（いちかわ） 克宏（かつひろ）



実態に合わない過大な委託料は問題

７年度に中小企業者等への電気・ガス料金高騰対策事業者支援金の交付業務を委託し、交付実績が想定の約３分の１だったが、交付総額の約７割となる委託料を、契約変更せずに支出したことは、市民の理解を得られるものではない。業務量を適切に見積もるのは、公金を支出する上で、市の当然の責任である。

これまで、類似事業でも過大な委託料を指摘してきたが、是正されず、本件は定期監査でも指摘を受けた重大な問題であることから、本決算に反対する。

諸派

賛成　高橋（たかはし） 剛（ごう）



さらなる検証でより大きな効果を

安定した財政運営を評価する。新たな制度やイベントの実施で終わらせず、市民・地域の変化まで詳細に検証し、次の改善につなげ、大きな効果を生み出すことを求め、本決算に賛成する。

反対　金子（かねこ） 亜希子（あきこ）



市民の安心につながる事業に財源を

市民に近い基礎自治体としては、経済成長や観光振興以上に、市民生活の土台を支える社会保障の充実を大きな方針として、市民に示す必要があったことを指摘し、本決算に反対する。

諸派＝会派に所属しない議員

